

田中哲也
作品資料

**Works of
Tetsuya Tanaka**



棗 **Tea Caddy** 2010年 H. 6.5×W. 8×D. 8cm 撮影：藤井友樹
ミクストメディア 陶、銀彩、アルミ板、ボルト、ナット

Mixed Media Clay, Silver Laster, Aluminum Plate, Bolt, Nut Photo: Tomoki Fujii



ボルト茶碗 **Tea Bowl** 2010年 7.5×12×13cm 撮影：藤井友樹
陶、銀彩 Clay, Silver Laster Photo: Tomoki Fujii



水指 **Water Container with Lid** 2010年 17.5×17.5×15.5cm 撮影：藤井友樹
ミクストメディア 陶、銀彩、アルミ板、ボルト、ナット

Mixed Media Clay, Silver Laster, Aluminum Plate, Bolt, Nut Photo: Tomoki Fujii



ARK No.5(花器) 2006年 23×14.5×12.5cm 撮影：藤井友樹

ミクストメディア 陶、銀彩、ボルト、ナット

Mixed Media Clay, Silver Laster, Aluminum Plate, Bolt, Nut Photo: Tomoki Fujii



ARK No.11(花器) 2008年 23×9×12.5cm 撮影：藤井友樹

ミクストメディア 陶、銀彩、ボルト、ナット

Mixed Media Clay, Silver Laster, Aluminum Plate, Bolt, Nut Photo: Tomoki Fujii



A-TUBE(一輪挿し) 2014年 19×8.5×12cm 撮影：藤井友樹
ミクストメディア 陶、銀彩、ボルト、ナット、試験管 ※個人蔵

Mixed Media Clay, Silver Laster, Bolt, Nut, Test tube *Private Collection Photo: Tomoki Fujii



A-TUBE(一輪挿し) 2014年 19×8.5×12cm 撮影：藤井友樹
陶に銀彩 ※個人蔵 *Private Collection Photo: Tomoki Fujii



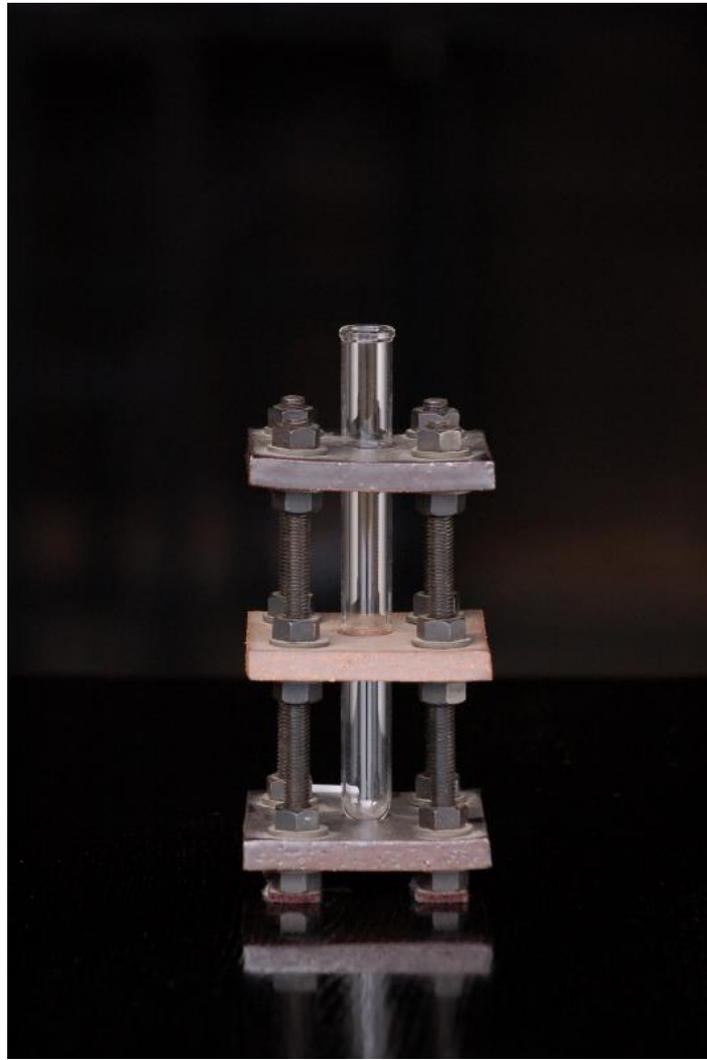
ARK No.15 (花器) 2014年 H.18×W.11×D.11cm 撮影：藤井友樹
陶に銀彩 ※個人蔵 Clay, Silver Laster, *Private Collection Photo: Tomoki Fujii



水指 2007年 20.5×17.5×15.5cm 撮影：藤井友樹

ミクストメディア 陶、アルミ板、アイボルト、ナット ※個人蔵

Mixed Media Clay, Silver Laster, Aluminum Plate, Bolt, Nut *Private Collection Photo: Tomoki Fujii



一輪挿し 16×7×7cm 撮影：藤井友樹
ミクストメディア 陶、ボルト、ナット
Mixed Media Clay, Bolt, Nut Photo: Tomoki Fujii



一輪挿し 2014年 14×13×9cm 撮影：藤井友樹
陶に銀彩 Clay, Silver Luster, Photo: Tomoki Fujii



自然釉ぐい呑み 2014年 6.5×8cm ※個人蔵 撮影：藤井友樹
Natural glaze SAKE Cup *Private Collection Photo: Tomoki Fujii



自然釉井戸茶碗 2014年 7×15cm ※個人蔵 撮影：藤井友樹
Natural glaze Tea bowl *Private Collection Photo: Tomoki Fujii



自然釉花器 2014年 12.5×29.5×17.5cm 撮影：藤井友樹
Natural glaze flower vase Photo: Tomoki Fujii



自然釉花器 2014年 18×20×17.5cm 撮影：藤井友樹
Natural glaze flower vase Photo: Tomoki Fujii



自然釉花器 2015年 31.5×12×12cm 撮影：藤井友樹
Natural glaze flower vase Photo: Tomoki Fujii



自然釉一輪挿 2015年 21.5×18×7cm 撮影：藤井友樹
Natural glaze flower vase Photo: Tomoki Fujii



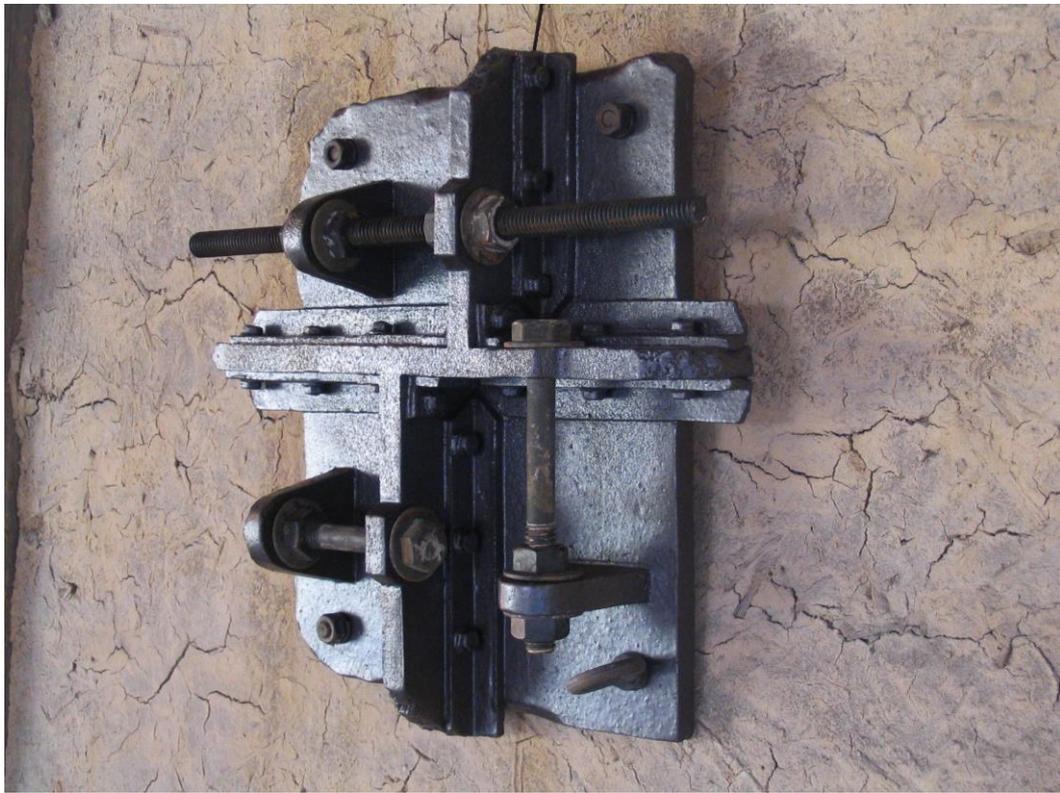
自然釉香立 2015年 14.5×36×16cm 撮影：藤井友樹
Natural glaze incense stand Photo: Tomoki Fujii



自然釉花器 2015年 6.5×23×11cm 撮影：藤井友樹
Natural glaze flower vase Photo: Tomoki Fujii



自然釉花器 2015年 21×30×30cm 撮影：藤井友樹
Natural glaze flower vase Photo: Tomoki Fujii

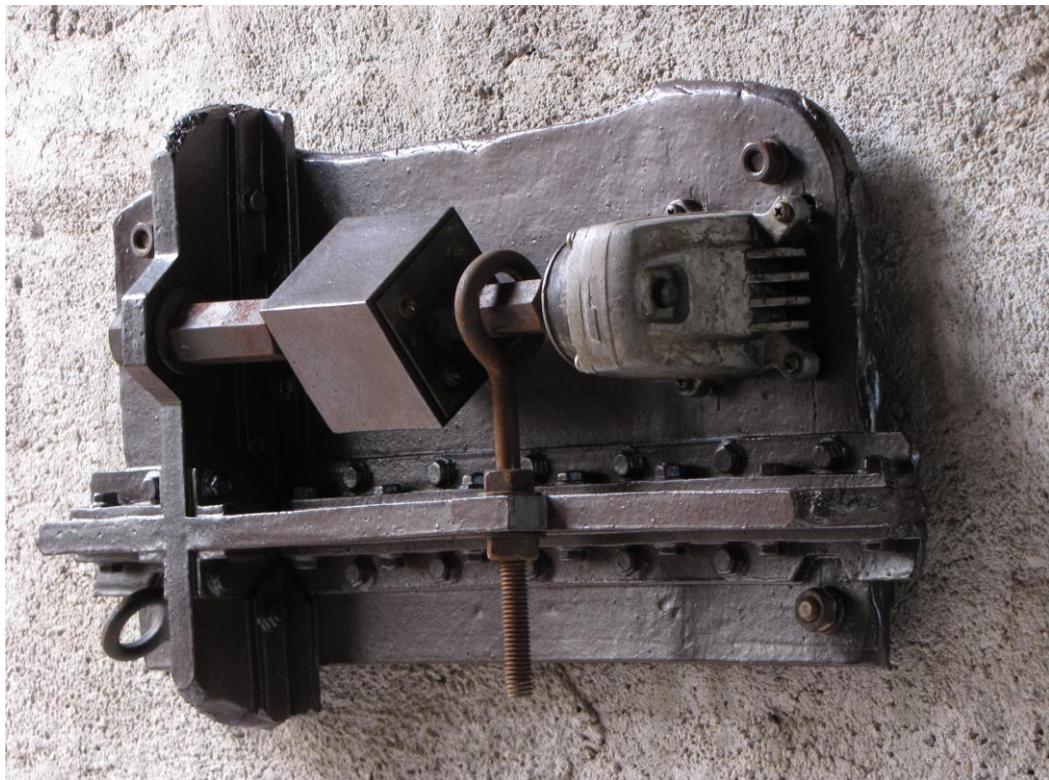


ヘキメンノシコウNo.25 - 17歳の地図 2009年 30×28×7cm

ミクストメディア 陶、ボルト、ナット

Thinking on the Wall No.25-Seventeen's Map

Mixed Media Clay, Bolt, Nut



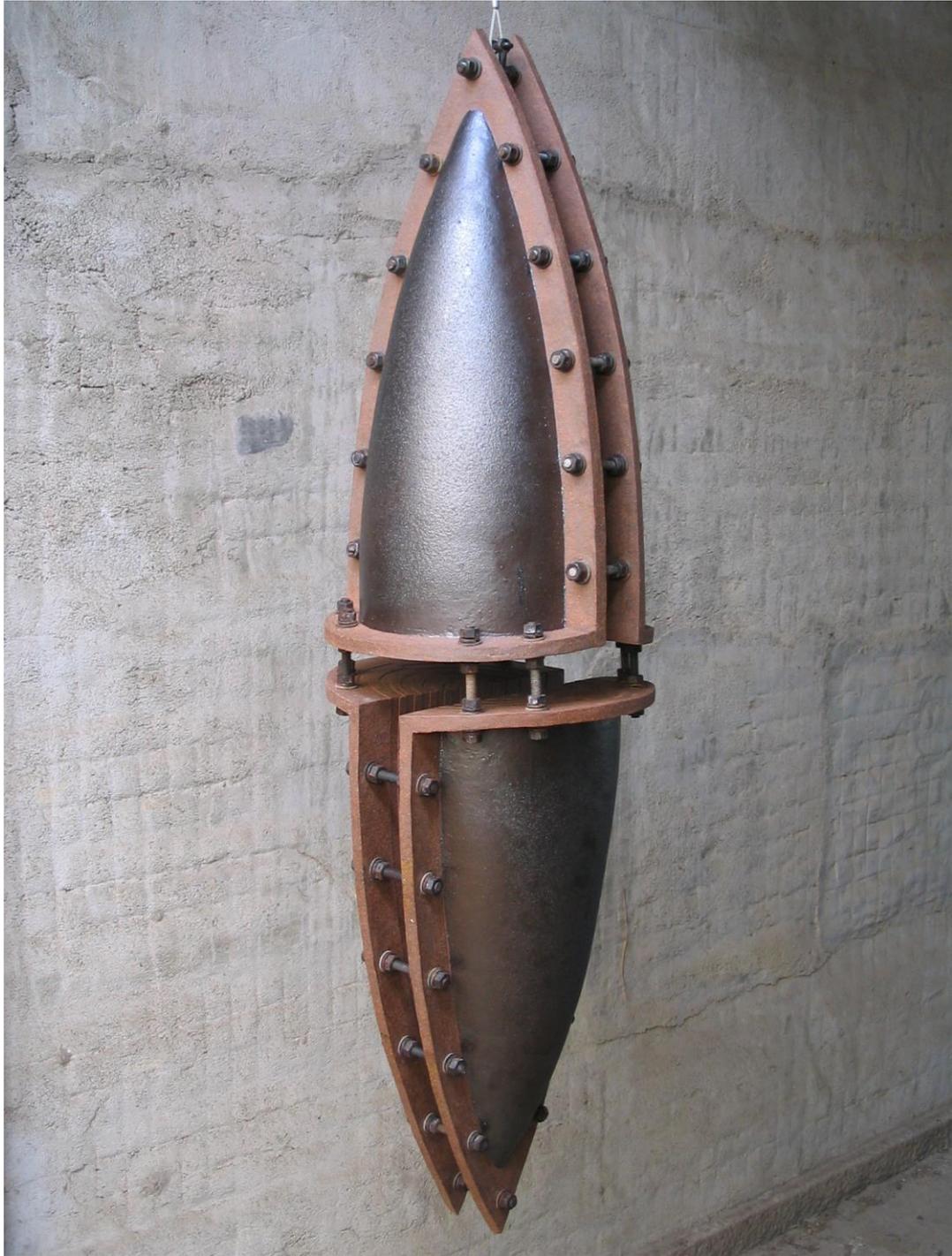
ヘキメンノシコウ No.31-秘められた音へ 2009年 24×41×9cm

ミクストメディア 陶、ボルト、ナット、モーターヘッド ※クロアチア陶磁財団蔵

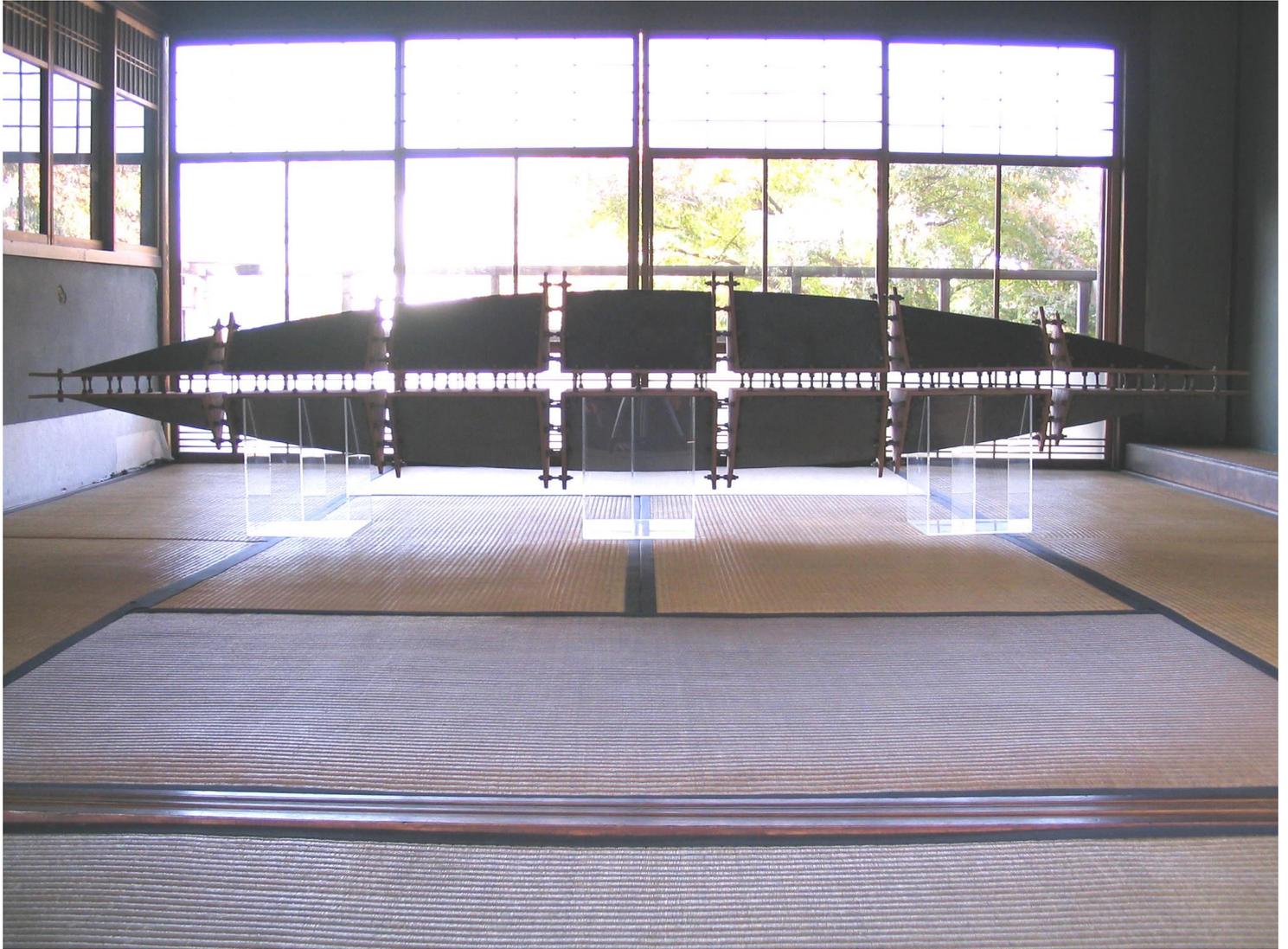
Thinking on the Wall No.31-Sound Kept Secret

Mixed Media Clay, Bolt, Nut, Motor head

* KERAMEIKON Collection of Contemporary World Ceramics, Croatian Ceramic Association, Varazdin, Croatia



宙 (SOLA) 2005年 98×29×29 c m
ミクストメディア 陶、ボルト、ナット
Mixed Media, Clay, Bolt, Nut



空 (QOO) -近未来ノスタルジー 2007年 70×320×33cm

ミクストメディア 陶、ボルト、ナット

※BIWAKO ビエンナーレ 2007 出展

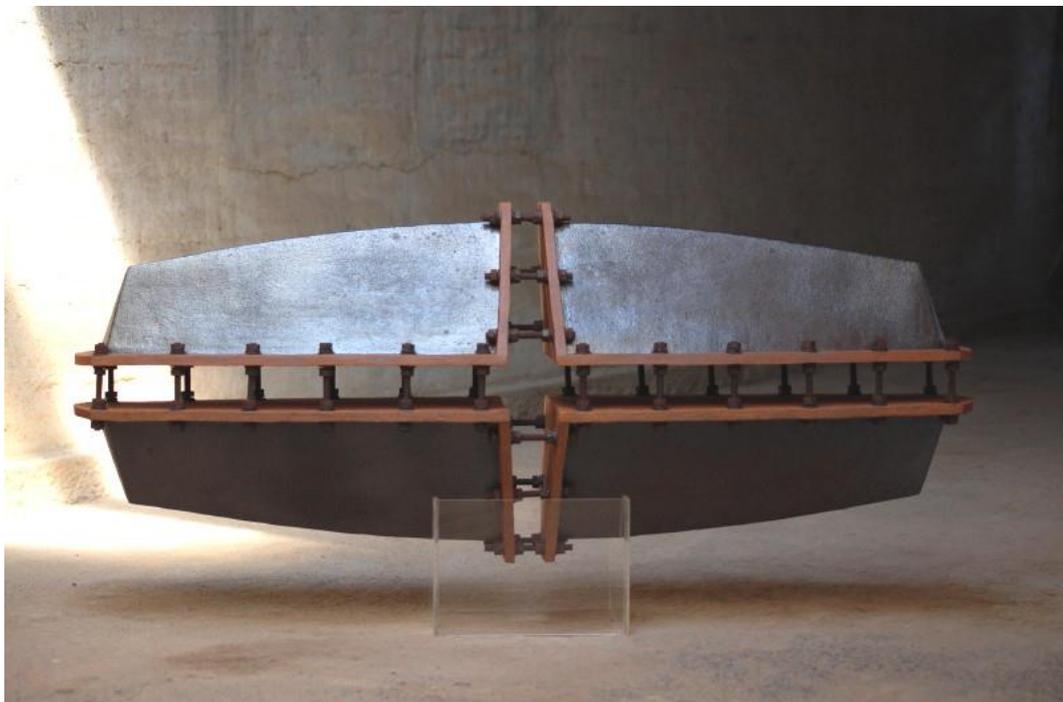
空[QOO]-KINMIRAI Nostalgia

Mixed Media Clay, Bolt, Nut, Acrylic Plate

* Exhibit BIWAKO Biennale 2007

2003年から、「空 QOO」シリーズを展開している。当初は、陶表現において、今までにはないものを目指して、陶をボルトで連結する技法を用いた。しかし、数年発表をしていくうちにそれとは逆に、作品のなかにある種の懐かしさ、クラシックな要素が包括されていることが分かった。

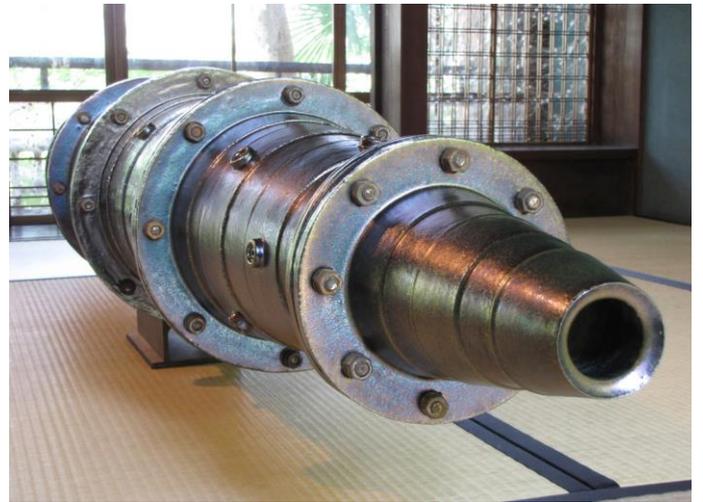
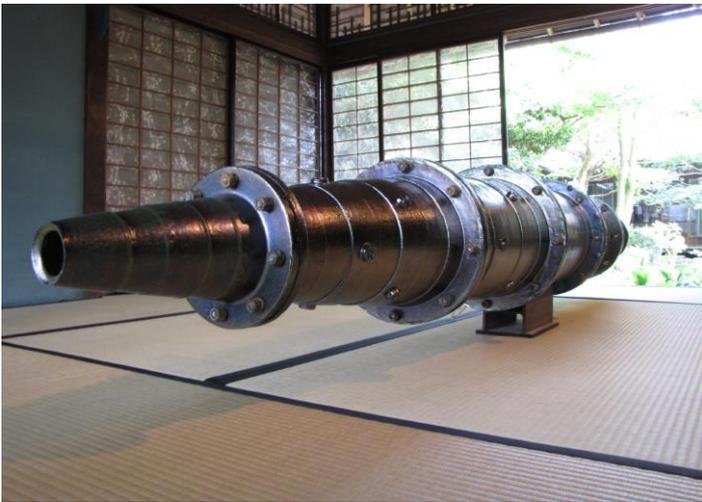
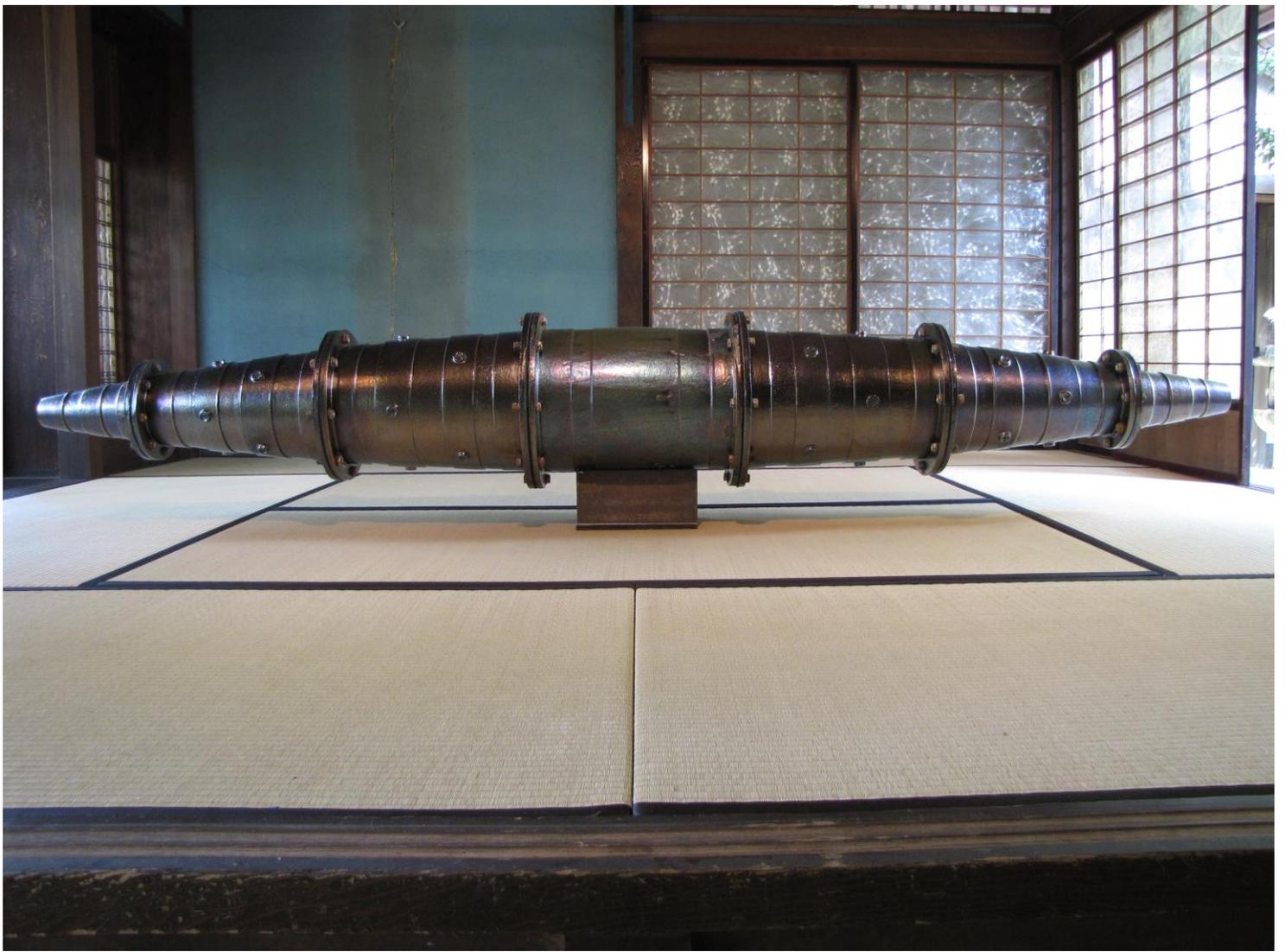
作品を見た方から、幼い頃のテレビアニメを思い出すとか、昔の工場の雰囲気を持っているなどと言われる。確かにこのシリーズは、空中に浮かぶ人工的なものをイメージしている。子供の頃に空想した近未来的な飛行物体、そんな記憶が、ベースになっているのであろう。作者と観客との間に同じ感覚が生まれる。幼少の頃に夢見た輝かしい近未来、それを懐かしく感じる感覚、それを「近未来ノスタルジー」と呼ぶ。



空 (QOO) No.12 - NOAH 2008年 46×97×23cm 撮影：藤井友樹
ミクストメディア 陶、ボルト、ナット、アクリル
Mixed Media, Clay, Bolt, Nut, Acrylic plate Photo: Tomoki Fujii



空 (QOO) No.15 - CORE 2013年 63.5×50.5×26.5cm 撮影：藤井友樹
ミクストメディア 陶、ボルト、ナット
Mixed Media, Clay, Bolt, Nut Photo: Tomoki Fujii



響器-HIBIKI 2010年 50×286×41cm

ミクストメディア 陶、ボルト、ナット

※ BIWAKO ビエンナーレ 2010 出展

Mixed Media Clay, Bolt, Nut

* Exhibit BIWAKO Biennale 2010

響器-HIBIKI について

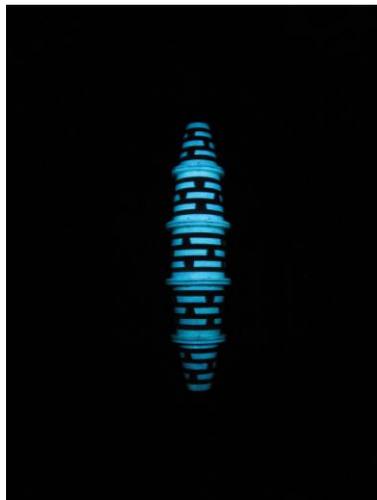
私は、陶と金属を組み合わせた作品をつくっています。陶芸家でもあり美術作家でもあります。しかし美術作品をつくる上で、素材が陶である必要性とは何か、と常々考えていました。今回の作品では、陶芸と現代美術の擦り合わせが、矛盾なく出来たと思います。陶芸家でしかつけない現代美術作品をつくりました。

ろくろで挽いた土管状の陶器をボルトとナットで連結させ、ひとつの作品にしました。この作品のろくろ技術は独特のもので、連結させた時にきれいなカーブが出るように、設計時にへら状の型を作ります。

「響器 HIBIKI」のコンセプトは、音を盛る器です。作品の前に立つと室外の音が、作品内部から聞える仕組みになっています。それまで微かに聞いていた外の音が、急に大きく聞えることによって、鑑賞者は覚醒した感覚を覚えます。

人の脳の情報は、80%視覚から得ているといわれています。響器を見て、視覚情報により、一見、金属に見える物体は一体何だろうと思う。そして音が聞えて、その音が何の音で、何処から聞えてくるか分かるまで数秒間掛かる。やがてその音は消え、その場に静けさが戻ります。普通、当たり前ですが、室外の音は、室内が静かであるから聞えます。普段、意識しない室外の音を聞くことによって、その場が静かであることを再認識されると思います。

「響器 HIBIKI」には、室外の音を盛ることにより、静けさを盛りました。



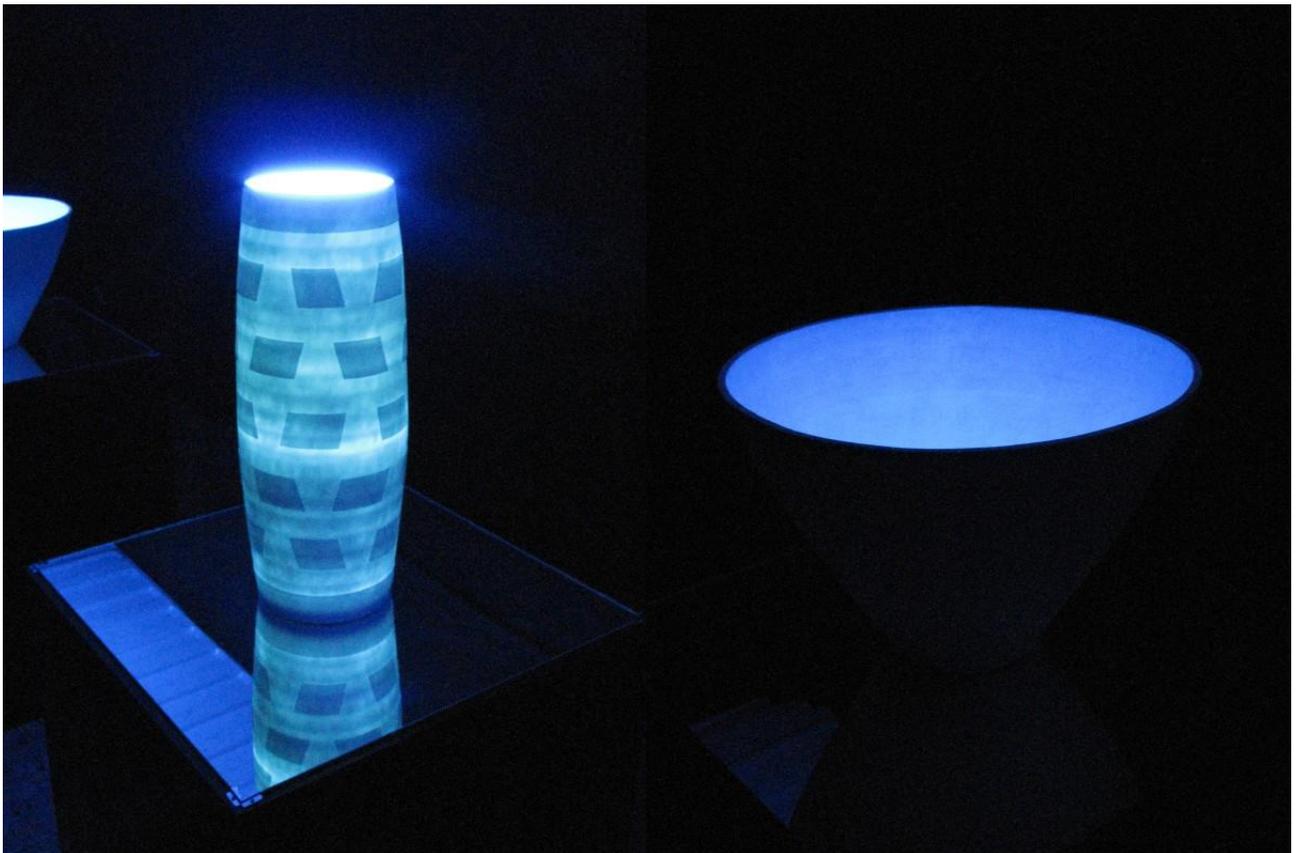
輝器(KAGAYAKI)-COCOON 2012年 120×28×28cm

表現媒体 ミクストメディア 信楽透土（滋賀県登録商標 信楽透器）、ブラックライト蛍光管、LED ブラックライト、スイッチタイマー、蛍光材、蓄光材、アクリルボルト、アクリルナット

※2016 Taiwan Ceramic Biennale International Competition 優選 Merit Prize 受賞作品

光の器というコンセプトでの2作目。光源はブラックライト蛍光管とLEDブラックライト(スポットライト型)、作品内部には、蛍光材を焼付け、外側には、蓄光材を成形時のデザインにそって、凸部に塗り、焼き付けた。スイッチタイマーを使用し、光源を約1分ON、約10秒OFFを繰り返す。ON時は、作品内部の蛍光材が発光し、OFF時は、外部の蓄光材が発光する。この作品においては、光の神秘性を求めた。

Mixed Media Semitransparent Clay, Fluorescent material, Black light fluorescent tubes



輝器 (KAGAYAKI) - 光の器 2013 年

表現媒体 ミクストメディア 信楽透土 (滋賀県登録商標 信楽透器)、ブラックライト蛍光管、LED ブラックライト、蛍光材

※神戸ビエンナーレ2013 出展

Mixed Media Semitransparent Clay, Fluorescent material, Black light fluorescent tubes,

* Exhibit KOBE Biennale 2013



輝器-KAGAYAKI 2012年 輝器本体：288×36×36cm 立体枠：360×151×145cm

表現媒体 ミクストメディア 信楽透土（滋賀県登録商標 信楽透器）ブラックライト蛍光管、蛍光材、アクリルボルト、アクリルナット

※大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2012 出展作品

写真は、滋賀県野洲市兵主大社 滋賀県重要文化財楼門のライトアップに伴う展示

輝器 KAGAYAKI- Vessel of light 2012 H. 288×W.36×D.36cm

Mixed Media Semitransparent Clay, Acrylic bolt, Fluorescent material, Solar panels, Brightness Sensor, Black light fluorescent tubes, batteries

* Exhibited Echigo-Tsumari Art Triennale 2012

輝器 KAGAYAKI- Vessel of light

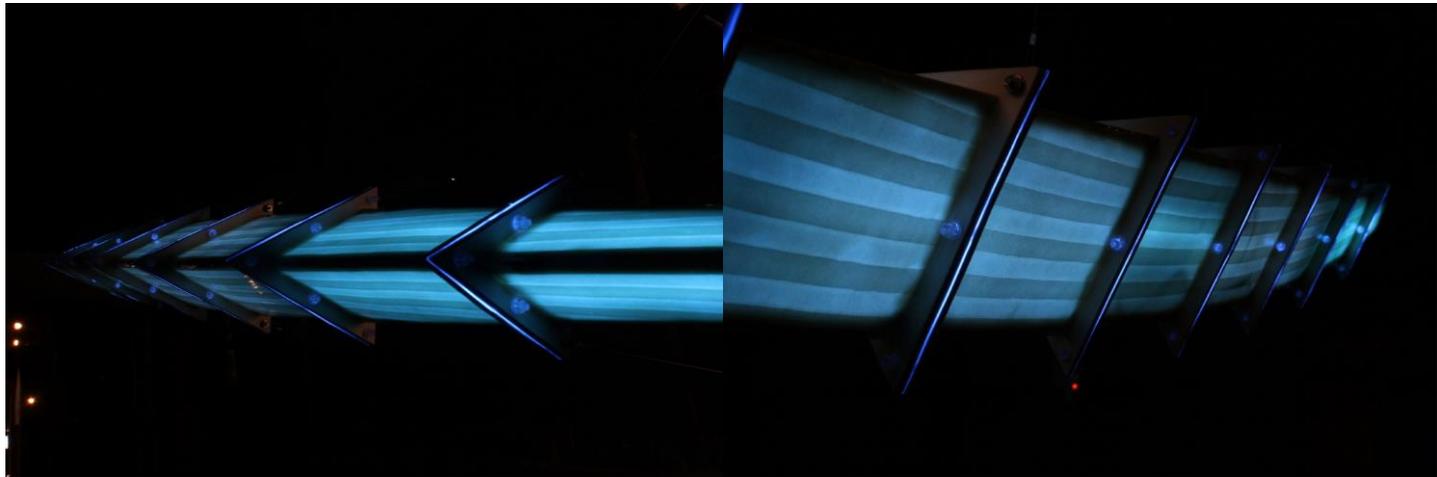
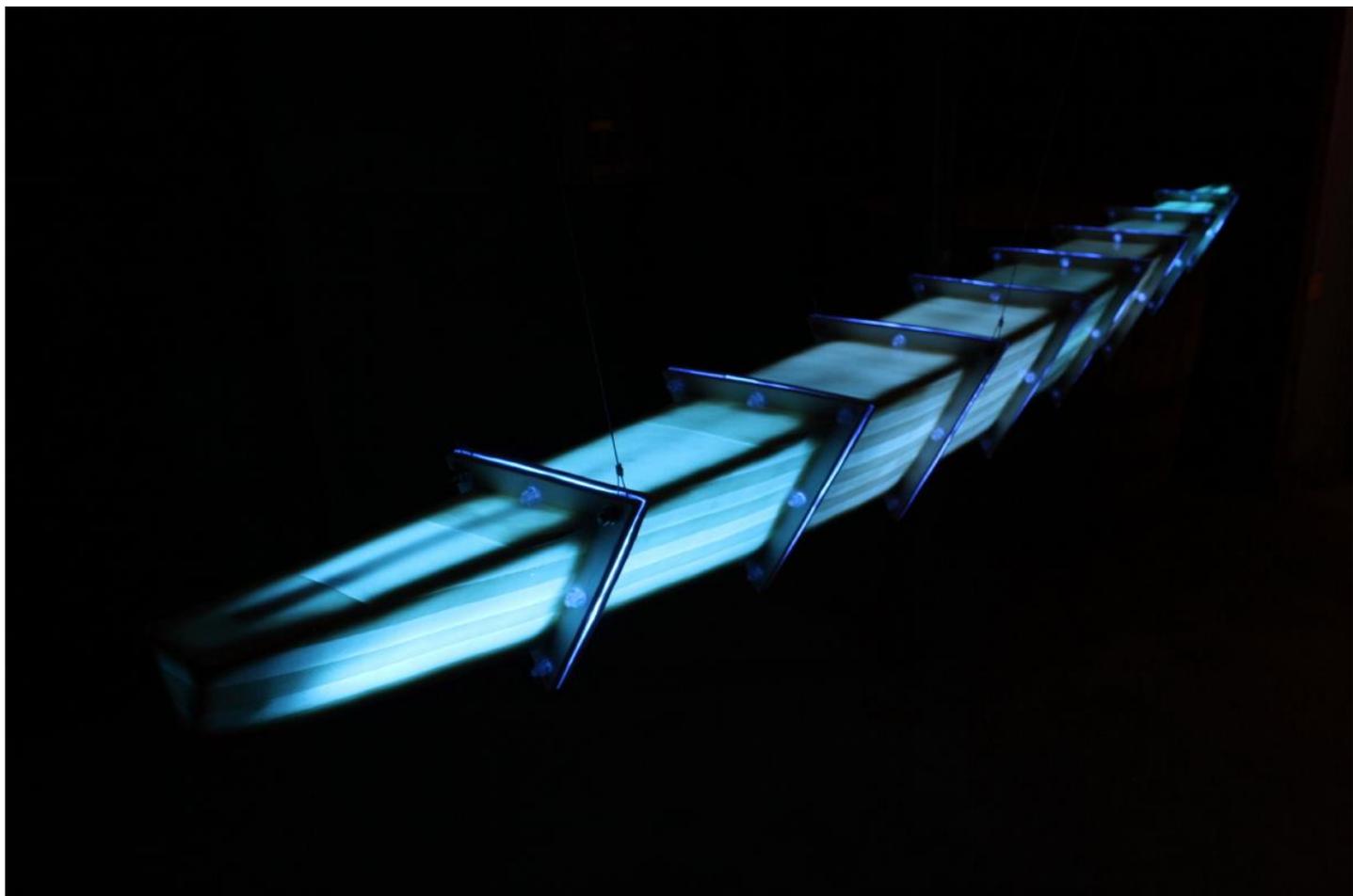
My work is a Contemporary art and also a craft. I think always, and I would like be able to offer their critical point. Recently, I am trying approach to contemporary art from ceramic art. I am making vessel for invisible or formless things. For example vessel of sounds, vessel of time. KAGAYAKI is vessel of lights or rays. I made KAGAYAKI body by semitransparent clay. This clay has been developed at Industrial Research Center of Shiga Prefecture in 2009. I baked fluorescent material on KAGAYAKI inner. I illuminated it with ultraviolet light lamp. Ultraviolet light is invisible light rays. I rebirth it to visible light rays in KAGAYAKI.

輝器-KAGAYAKI について

私の作品は、コンテンポラリーアートであり、クラフトでもある。日々、その臨界点を提示できないだろうかと思っている。近年、見えないものや、形のないものを盛る器をコンセプトに新しい表現を模索している。2010年には、音を盛る器として響器-HIBIKI を制作した。今回、光を盛るための器というコンセプトで輝器-KAGAYAKI を制作した。

輝器本体には、2009年に信楽窯業試験場で開発された焼成すると半透明になる土、信楽透土を使用した。電源は太陽電池（一部コンセントより供給）、光源は通称ブラックライトと呼ばれる不可視光を使用した。作品内部には、蛍光顔料が焼付けてあり、ブラックライトを浴びることにより発光する。この還元・再生のプロセスにより生まれる光が、人々の魂を浄化させるようなものとなればと思う。

また、輝器は、照度センサーにより太陽光と比例した輝度となる。太陽の照り方により一刻一刻違う表情をみせる。無機質の陶器から発する光は、何かが生まれるために呼吸を繰り返しているような感覚を覚える。

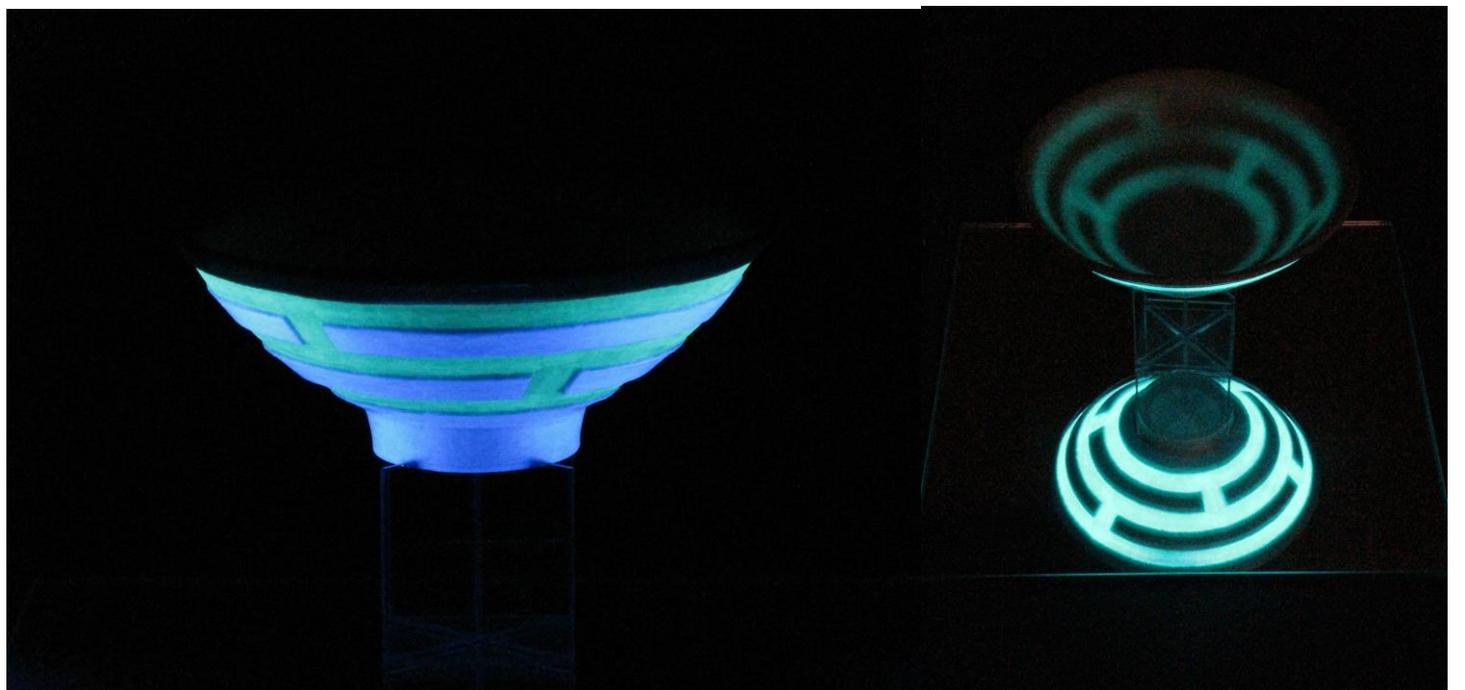
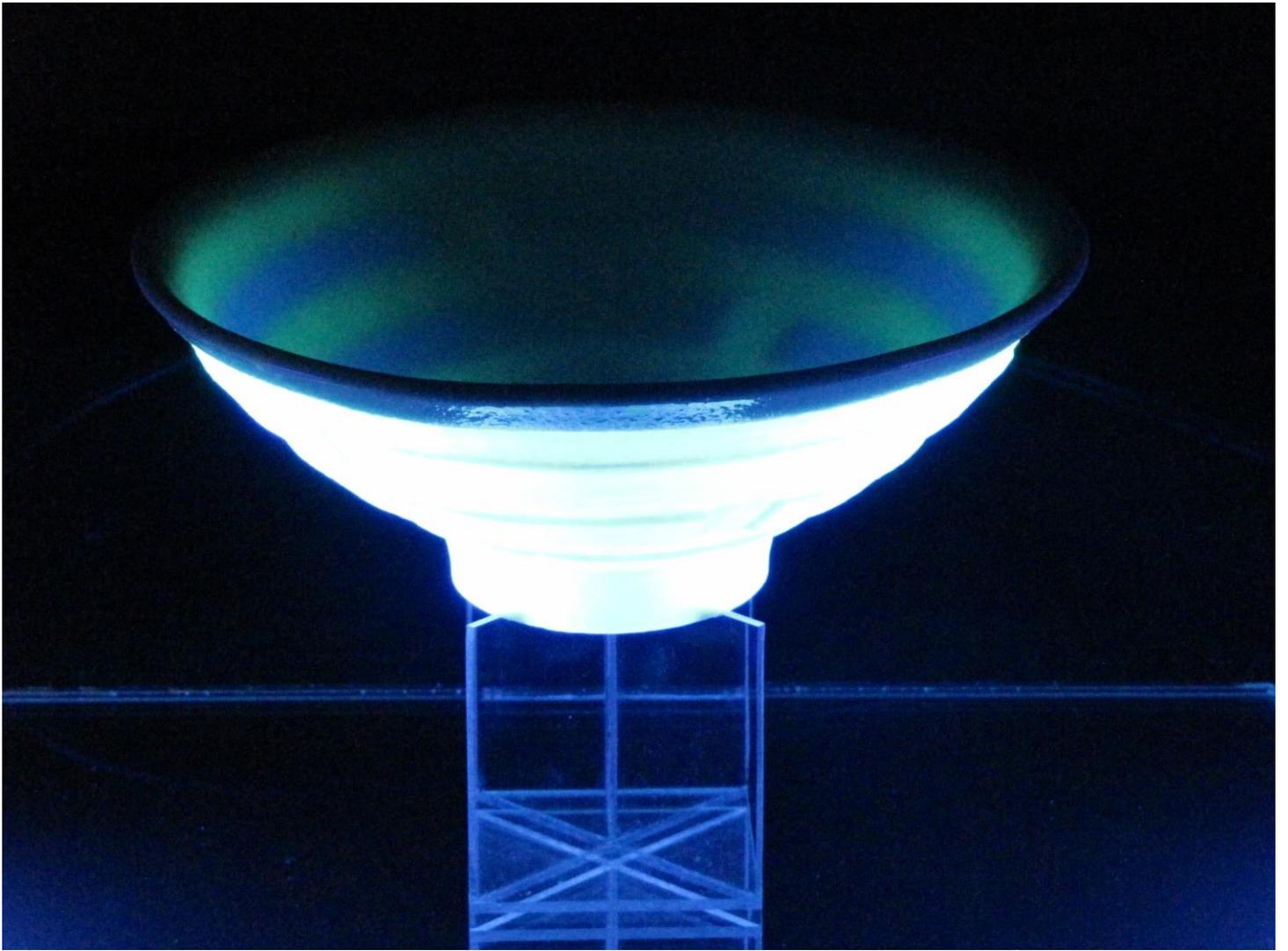


輝器 KAGAYAKI-Vessel of Light 30×250×40cm 2014年 撮影：藤井友樹

ミクストメディア 信楽透土、ブルー蛍光管、アクリルボルト、アクリルナット

※BIWAKO ビエンナーレ 2014 出展作品

※Honorable Mention 受賞作品 8th Gyeonggi International Ceramic Biennale International Competition

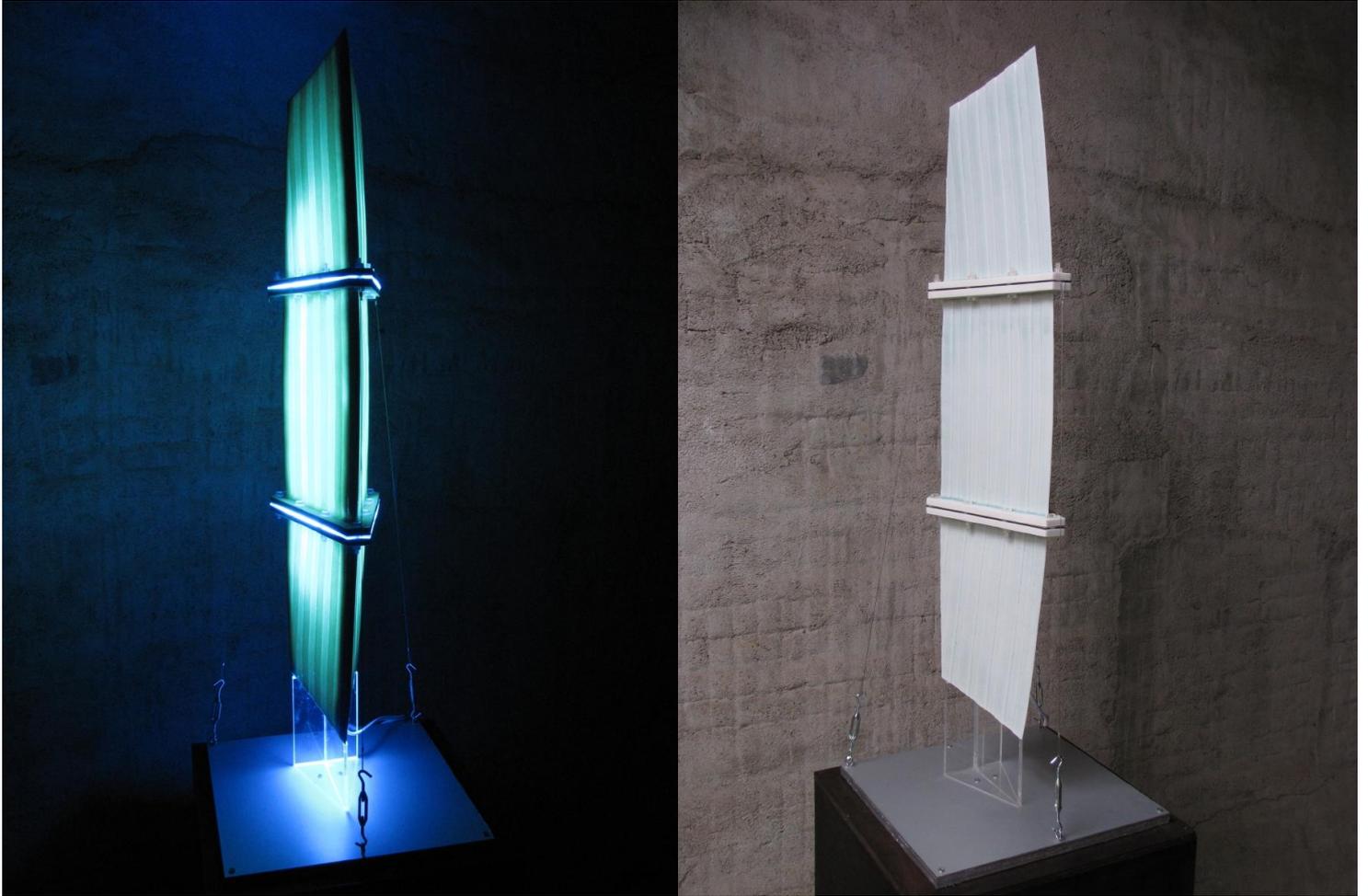


輝器 KAGAYAKI-光碗 Light Bowl 7×16×16cm 2014年

ミクストメディア 信楽透土、蛍光材、蓄光材、ブラックライト、アクリル板

※作品外部には、蛍光顔料が焼付けてあり、ブラックライトを浴びることにより発光する。また一部蓄光顔料が焼き付けてあり、ブラックライトを消しても光り続ける。

Mixed Media Semitransparent Clay, Acrylic bolt, Fluorescent material

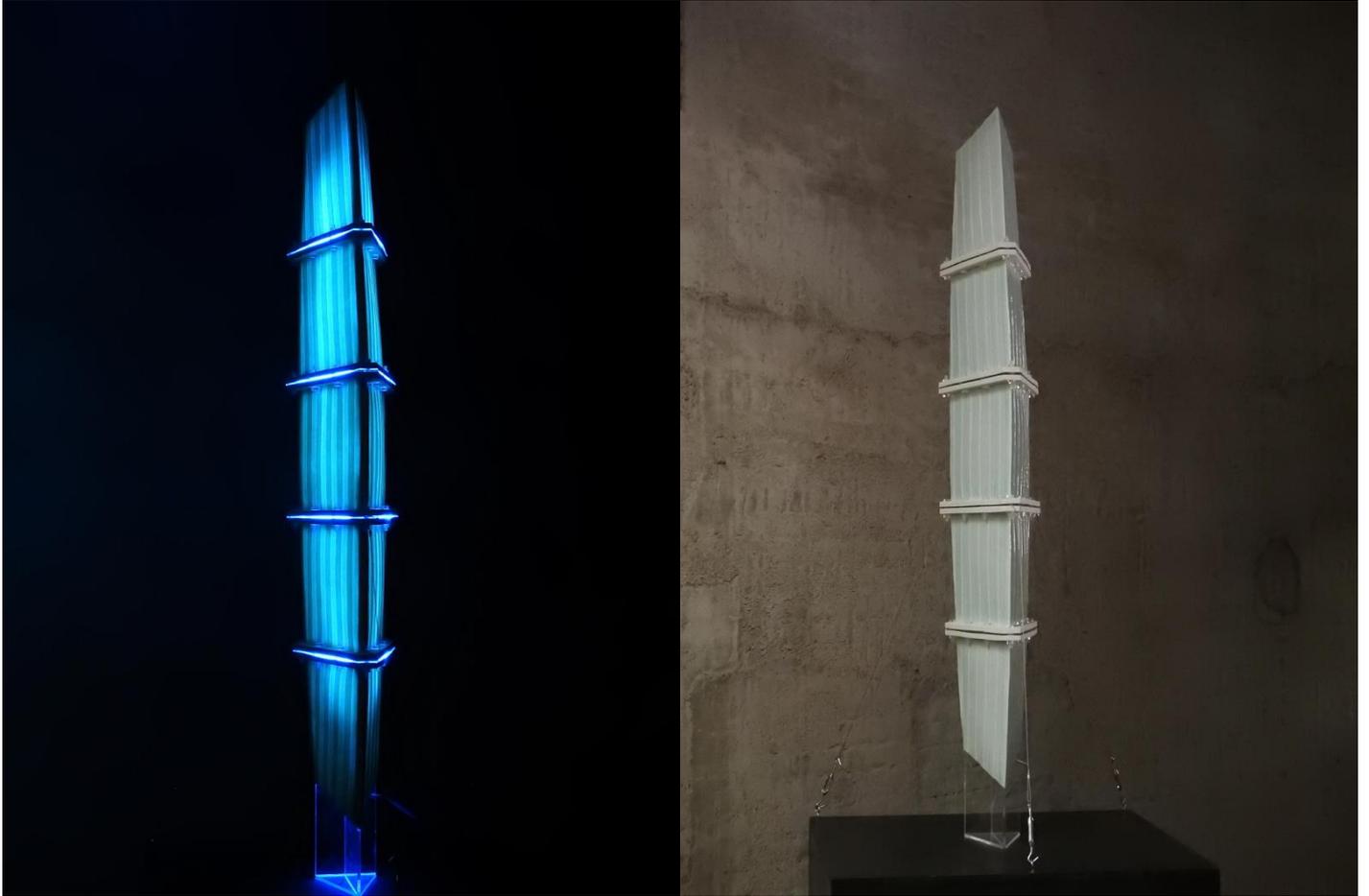


輝器 KAGAYAKI-刃 ZIN 2016年 100×23×16cm

ミクストメディア 信楽透土（滋賀県登録商標 信楽透器）ブルー蛍光管、アクリルボルト、アクリルナット

KAGAYAKI [Vessel of light]-ZIN

Mixed Media Semitransparent Clay, Acrylic bolt, Blue fluorescent tubes



輝器 KAGAYAKI-斬 ZAN 2016年 125×23×17cm

ミクストメディア 信楽透土（滋賀県登録商標 信楽透器）ブルー蛍光管、アクリルボルト、アクリルナット
撮影：藤井友樹

KAGAYAKI [Vessel of light]-ZAN

Mixed Media Semitransparent Clay, Acrylic bolt, Blue fluorescent tubes

Photo : Tomoki Fujii



輝器水指 2016年 17×20.5×20.5 cm 撮影：藤井友樹

ミクストメディア 信楽透土（滋賀県登録商標 信楽透器）アクリルボルト、アクリルナット

KAGAYAKI Mixed Media Semitransparent Clay, Acrylic bolt, Photo : Tomoki Fujii



輝器 ヘキメンノシコウ 2016年 36×36×12cm 撮影：藤井友樹

ミクストメディア 信楽透土（滋賀県登録商標 信楽透器）ブルー蛍光管、アクリルボルト、アクリルナット

KAGAYAKI Mixed Media Semitransparent Clay, Acrylic bolt, Blue fluorescent tubes

Photo : Tomoki Fujii